

令和2年4月24日
大臣官房技術調査課
国土技術政策総合研究所

国土交通データプラットフォーム 始動 ～約22万件の国土に関する情報の連携を開始！～

国土交通省では、デジタルツインの実現を目指し、3次元データ視覚化機能、データハブ機能、情報発信機能を有するプラットフォームの構築を進めており、このたび、「国土交通データプラットフォーム1.0」の一般公開を開始します。

今後もユーザーの皆様からプラットフォームによるデータ連携が生み出す新たな価値の可能性について幅広くご意見・ご要望をお聞きする機会を設けながら、更なるデータ連携の充実やプラットフォームの改善を図ってまいります。

【国土交通データプラットフォーム1.0の概要】

これまで、国土交通省では、2019年5月に「国土交通データプラットフォーム整備計画」を策定し、プラットフォームの構築を進めてきました。

国土交通データプラットフォームによって、様々なデータをAPI(Application Programming Interface)により連携させ、国土交通行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進し、国土交通省施策の高度化やオープンイノベーションの創出を目指しています。

今回は、国・地方自治体の保有する橋梁やトンネル、ダムや水門などの社会インフラ(施設)の諸元や点検結果に関するデータ約8万件と全国のボーリング結果等の地盤データ約14万件の計22万件を地図上に表示しました。これらの情報はプラットフォーム上で検索・閲覧が可能であり、更に必要なデータをダウンロードすることも可能です。

また、今後工事・業務の電子成果品に含まれるデータとの連携に向け、ICT施工の3次元点群データ約250件を地図上に重ねて表示する機能を試行しました。

今後は、ロードマップに基づき、ユーザーや有識者等からのご意見・ご要望をお聞きしながら、データ連携による新たな価値の具体化を図るとともに、セキュリティ機能や利活用ルール等の整備を通じて、他省庁や民間、地方公共団体等が保有するデータとの連携拡大に取り組んでまいります。

加えて、データ連携の促進や、データ活用による業務の高度化を推進するための要素技術の開発に取り組めます。

国土交通データプラットフォーム

検索



国土交通データプラットフォーム1.0公開アドレス <https://www.mlit-data.jp/platform>

問い合わせ先

(取組全般について)

国土交通省 大臣官房 技術調査課

課長補佐 中西 健一郎(内線22339) 係長 松葉 俊哉(内線22326)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8219 FAX:03-5253-1536

(国土交通データプラットフォームのシステムについて)

国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室

主任研究官 井上 直(内線3829)

代表:029-864-2211 直通:029-864-7412 FAX:029-864-2214